

“源内・結願のまち”のまちづくり!!

■ 1日目 源内プロジェクト研修 ⇒ 平賀源内記念館見学 ⇒ 志度寺（86番札所）等散策 ⇒ 分科会交流会 ⇒ 夜なべ談義
□ 2日目 長尾寺（87番札所）散策 ⇒ おへんろ交流サロン見学 ⇒ 天体望遠鏡博物館見学 ⇒ 結願の里多和の会研修 ⇒ 大窪寺（88番札所）散策

群馬県企画部地域政策課（榛東村から派遣） 後藤 正人

私が参加した第5分科会は、「“源内・結願のまち”のまちづくり!!」をテーマに、さぬき市がまちづくりの一環として進めている「源内の改革プロジェクト」という官民連携事業と、「天体望遠鏡博物館」及び「結願の里 多和の会」の廃校活用事例について研修を行いました。

本分科会には、北は青森から、南は沖縄まで、全国から19名が参加していました。

1日目は、さぬき市が官民連携の取組として平成27年10月から実施している「源内の改革プロジェクト」について学びました。

このプロジェクトは、さぬき市出身の平賀源内をモチーフに、郷土料理や文化等の地域資源を官民一体となって発信する取組として、奇想天外 × 温故知新をキーワードとして、独自の視点で地域資源（魅力）を掘り起こし、地域活性化につなげるものです。

取組内容としては、以下の4部門から構成されています。

- にぎわいづくり、移住促進に取り組む「奇想天外奉行」
- 地元食材を使った商品開発に取り組む「懐味奉行」
- 体験型観光商品の開発に取り組む「遊学奉行」
- 平賀源内記念館のPR等に取り組む「歴伝奉行」

どの地域においても、地域資源をどのように発掘し、活用するかという課題は、地域づくりにおける共通の課題であると感じていますが、この取組は、平賀源内という人物を地域資源としてうまく活用しているなと思い、おもしろさを感じました。



2日目は、「天体望遠鏡博物館」及び「結願の里 多和の会」の廃校活用事例を学びました。

●天体望遠鏡博物館

世界初の望遠鏡博物館として、平成28年3月に開館し、約300台の大中小様々な望遠鏡が保管されています。旧校舎の各教室、室内プール等、所狭しと望遠鏡が並べられています。展示だけでなく、望遠鏡を使った天体観測イベントも開催されています。

世界初の施設であったり、観測のために天井が動く部屋、ドーム型の望遠鏡等、珍しさ、インパクトのある施設でした。

運営はボランティアスタッフにより行われており、望遠鏡のメンテナンス、収集すべてがスタッフにより行われていることに驚かされました。

望遠鏡の収集にあたっては、全国の公共施設等で処分されるものを引き取り、再利用しているとのことでしたが、スタッフが自ら取りに行き、望遠鏡を一度バラして施設に搬入後、再度組み立てを行っているとのことであり、特に印象的でした。



●結願の里 多和の会

どぶろくの販売等を目的として、平成24年4月に組織が設立されてから、法人の設立、どぶろく製造免許取得等、地域住民のみで手探りの状況で活動に取り組んできたとのことでした。役員は年配者がほとんどでしたが、地域コミュニティの維持・形成に対する強い意識、熱意を感じました。

今後の展望に対する参加者との意見交換も行われ、積極的な議論がなされました。その中で、人件費の支払い等を含め、経営ができる体制整備が望まれるのではないかとの意見が多くありましたが、多和の会の方々は、そのことを念頭に置きつつも、廃校を中心に地域住民間の交流が生まれ、活性化されたことに大きな意義を感じているようでした。

経営方法については決して簡単な課題ではないと思いますが、現段階で今後の長期的な展望が見通せない中であっても、笑顔で自分たちの活動を説明してくれる姿に、日頃の活

動の充実さを垣間見たような気がします。



初めて廃校活用事例を見学しましたが、廃校が地域の核となり、地域の活性化につながりつつある様子を自分の目で見る事ができました。

最後に、この2日間を振り返り、自ら情報を発信することの必要性及び重要性を学びました。また、当たり前のことではありますが、熱意ある活動が地域の活性化につながることで、そして、地域づくりにおけるマンパワーの重要性を再認識しました。

本研修を通して、様々な方と触れ合い、交流できたことに非常に意義があったと感じています。知識の習得だけではなく、新しいネットワークの構築、さらには自分自身の人生の幅の広がり等、得るものが多かったと感じています。

群馬県地域づくり協議会においても「地域づくり団体研修交流会」と題し、毎年、交流事業を実施していますが、“つながりをつくる”という交流会の本質を見出すことができました。

もちろん内容の質も問われると思いますが、まずは交流の場があることが非常に大切であり、交流の場を提供することの重要性を再認識しました。

今回の研修を通して学んだことを、今後の業務に活かしつつ、行政職員として、また、1人の住民として自分に何ができるかを考える機会になりました。今後も地域づくりについて考えていきたいと思っています。

貴重な機会をいただけたことに感謝したいです。